

大阪市立 港中学校

所在地 〒552-0015 港区池島1丁目5番35号

TEL 06-6572-4461~2

FAX 06-6572-2444

校長名 北川 延尚 (きたがわ のぶなお)



学校の紹介・校長メッセージ

本校は昭和28年4月16日、大阪市立市岡中学校入船分校として、1年8学級で発足し、昭和29年4月1日、大阪市立港中学校として開校したのがはじまりです。現在の校舎は「大阪オリンピック誘致」にあわせて、大阪プールや中央体育館などと同時期に建設されました。建物の形状を一言で言うと『大型船』。大型船を模した三角形の校舎は、抜群の耐震構造で建築物としてもとてもスタイリッシュな形です。

開校以来の校訓は「至誠」「勤勉」「自律」です。そして、本校は生徒の満足度の高い学校づくりを目指しています。中学校3年間は、人生にとって非常に大切な時期で、大人と子どもの分水嶺です。その大切な時期に大海原を漕ぎ出す船のごとく、「きわめて誠実に、一生懸命に勉学にはげみ、自分で考え、正しい行動ができる」ような生き方を身につけてほしいと願っています。

校訓

「至誠」「勤勉」「自律」

学校教育目標

- 個に応じたきめ細かな指導・支援をおこない、「生徒の満足度」の高い学校づくりを目指す

美しくきれいな校舎

全面二重窓、モダンでおしゃれな造り、室内・屋外ともにきれいで清潔な校舎。ぜひ一度校内をご覧ください。



運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだとおもいますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。
- 年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査における、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
- 生徒アンケートにおいて「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。
- 生徒アンケートにおいて「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合を96%以上にする。
- 生徒アンケートにおいて「自分には、良いところがありますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることが

できていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合を45%以上にする。

- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。
- 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を65%以上にする。
- 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を0.90以上にする。
- 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を50%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

平均正答率(%)		
国語	数学	英語
62	37	36

【国語】 全国と比較して、思考力、判断力、表現力等の分野では、「書くこと」の領域において12.5ポイント低い結果であった。知識及び技能の分野では「情報の扱い方に関する事項」の領域において12.7ポイント低い結果であった。

【数学】 全国と比較して、「関数」の領域において16.1ポイント、「データの活用」の領域において15.2ポイント低い結果であった。

【今後に向けて】 授業規律を確保しつつ、生徒の学力向上に向けた授業改善の取り組みの一つとして、タブレットの活用を主軸にしたICT化の推進に加え、基礎学習の徹底を各教科で進めていきたい。教員には、昨年度から実践している授業スタンダードを徹底させ、生徒の学力向上を目指し授業改善に取り組ませたい。

また、日常的にグループ学習・協同学習を取り入れ、ICT機器を使用した「発表」の機会をつくることで主体的、対話的な授業形態を日常化し、生徒自らが自分の考えを深めたり、広げる姿勢の形成を図っていく。

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	31.80	25.54	46.03	51.03	83.44	7.84	191.48	19.26	41.88
女子	25.03	21.75	46.17	45.81	54.34	9.13	156.47	13.05	48.36

<成果>

全国平均と比較して、男子は握力が2.78kg、長座体前屈が1.87cm、20mシャトルランが5.37回、50m走が0.17秒、体力合計点が0.56点上回った。女子は握力が1.88kg、上体起こしが0.13回、反復横とび0.16点、20mシャトルランが3.64回、ハンドボール投げが0.62m、体力合計点が1.14点上回った。男女とも、体力合計点が全国平均を上回った。対して、男女とも立ち幅とび(男子-5.54点、女子

-9.87点)が全国平均を下回った。立ち幅とびの運動能力の向上に向け、策を講じる必要がある。

<今後に向けて>

体力向上については、限られた時間の中で、体育の授業や学校行事、部活動を行えるようにも、生徒自身にとっての運動する目的を明確にするためにも、委員会活動や部長会議などを活用していく。

主な学校生活のようす



▲ 体育大会



▲ 水泳大会



▲ スピーチコンテスト



▲ 文化発表会作品

卒業後の主な進路【過去3年間】

卒業生 R3年度97名、R4年度99名、R5年度72名

進路先の人数は過去3年間の累計で表示

公立高校等

旭(4)、阿倍野、泉尾工(9)、市岡(13)、今宮(7)、今宮工(6)、桜和(2)、大阪わかば、大手前(4)、大手前(定)、OBF(5)、かわち野、柴島(3)、工芸(3)、港南造形(5)、咲くやこの花(8)、桜宮(2)、吹田、成城(15)、摂津、大教大平野、大正白穂(19)、中央(2)、鶴見南、天王寺、長吉、なにわ高等支援(3)、難波支援、西成(15)、西野田工(6)、日新、日体大附属高等支援、農芸、花園、汎愛(3)、阪南、東(3)、東住吉総合(4)、東淀川、布施北(5)、府大高専、港(7)、都島工(2)、桃谷(通)、守口東、焼津水産、八尾、淀商(6)

私立高校等

上宮(3)、上宮太子、英真、追手門学院大手前(3)、大阪、大阪学芸(10)、大阪信愛、大阪成蹊女子(2)、大阪つくば開成、大阪桐蔭、関大第一、関大北陽(2)、近大新宮、近大附、倉敷翠松、興國(11)、好文学園(3)、金光大阪、金光藤蔭、四條畷学園、常翔学園、昇陽(10)、清風、相愛、大商学園、大商大、大商大堺、浪速、函館大学付属有斗、東大阪大柏原、東大阪大敬愛(3)、明浄(2)、桃山学院、夕陽丘学園(4)、流経大柏

専修学校等

N高(2)、天王寺学館、東朋、ルネサンス大阪(4)

学校名等の後ろの()内は2名以上の進学者等の人数を表示しています。